

歳出総額 4.1%減 212 億 2,384 万円

平成28年度

決算報告

平成 28 年度の市の一般会計および特別会計の決算を報告します。また、同年度に行われた事業の中から主なものを紹介します。

一般会計

歳入総額 218 億 2,758 万円

歳出総額 212 億 2,384 万円

財政課

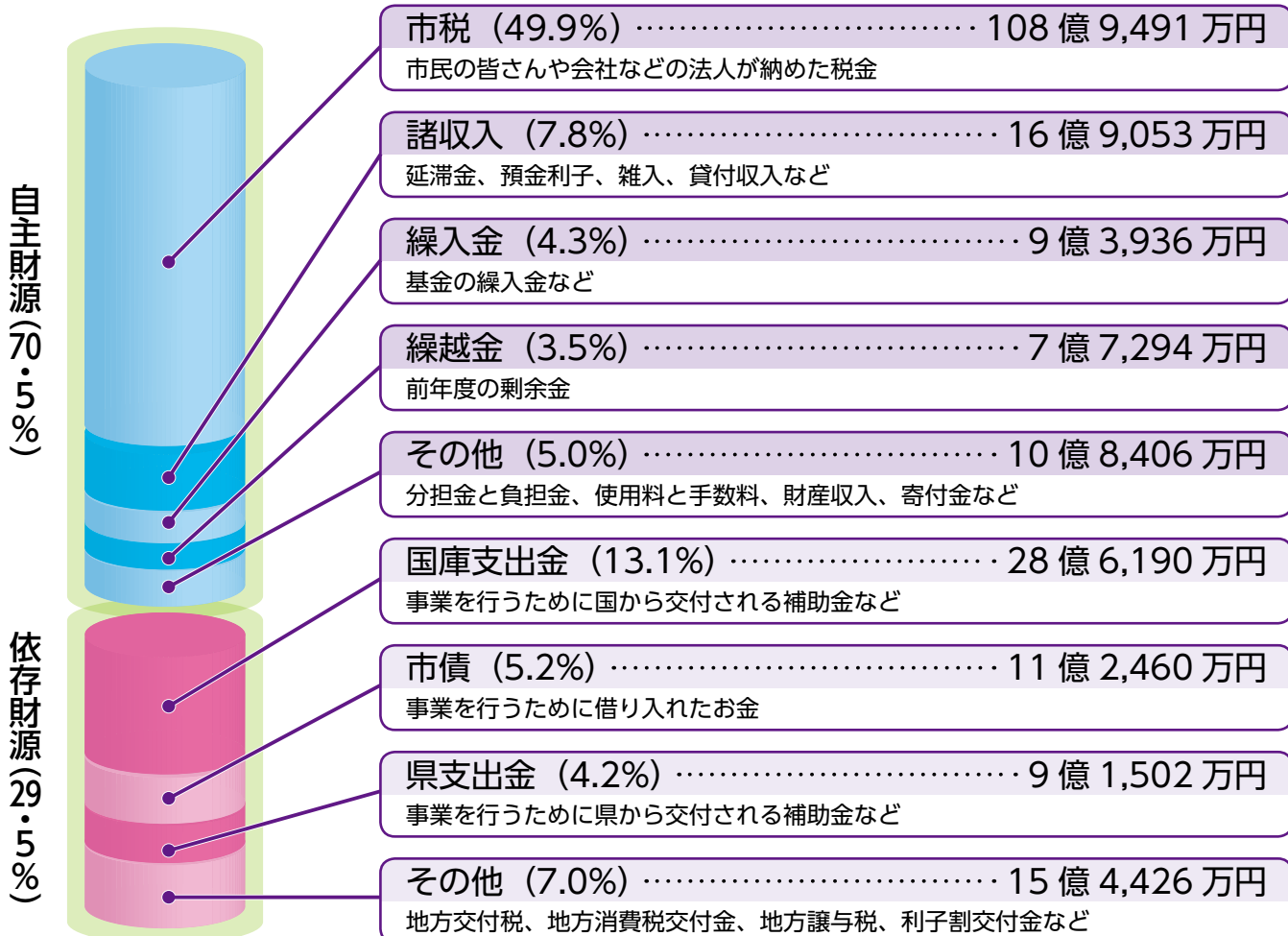
☎995-1801



みらいのパパママスクール



瀬戸山 I 橋改修



平成 28 年度 決算報告

歳入・歳出の特徴

歳入決算額は、市税（法人市民税）が税率改正などに伴い 2 億 7,887 万円の減となり 108 億 9,491 万円、国庫支出金が 3 億 3,374 万円の減の 28 億 6,190 万円、諸収入が富士山南東消防組合人件費負担金の増などのため 2 億 6,576 万円の増、市債は普通建設事業費の減少のため 9 億 4,920 万円の減となるなど、総額は前年度比マイナス 6.1%、14 億 1,831 万円の減の 218 億 2,758 万円でした。なお、平成 28 年度は普通交付税の不交付団体となり、普通交付税は交付されませんでした。

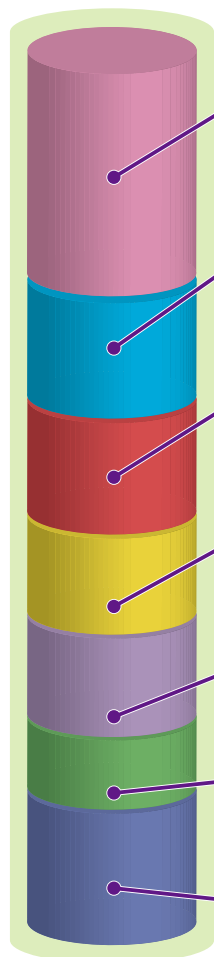
歳出決算額は、衛生費が最終処分場（第二期）整備事業の完了によって 8 億 4,664 万円の減、土木費が裾野駅周辺整備費の減などによって 4 億 7,027 万円の減、教育費が東小学校大規模改修事業の完了などによって 3 億 5,031 万円の減、総額は対前年度比マイナス 4.1%、8 億 9,912 万円の減の 212 億 2,384 万円となりました。



裾野駅バリアフリー化整備事業竣工内覧会



ペコちゃんとおともだち協定



民生費 (26.3%) 55 億 9,015 万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、保育園、子育て支援、生活保護にかかったお金

土木費 (13.7%) 29 億 40 万円

道路、河川、公園の整備などにかかったお金

教育費 (13.2%) 28 億 4 万円

幼稚園や小・中学校、社会教育やスポーツなどにかかったお金

衛生費 (11.4%) 24 億 1,278 万円

市民の病気予防や美化センターの管理などにかかったお金

総務費 (11.7%) 24 億 7,487 万円

庁舎や財産の管理、税金の徴収、戸籍事務、選挙などにかかったお金

公債費 (8.2%) 17 億 4,230 万円

事業を行うために借り入れたお金の返済金

その他 (15.5%) 33 億 330 万円

消防費、農林水産業費、労働費、商工費、議会費など

総合計画 6本の柱に基づく主要事業

第4次市総合計画が目標とするまちの将来像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現を目指し、6つの柱に沿った事業を行いました。



1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

事業名	事業概要
ヘルシーパーク裾野管理事業	ヘルシーパーク裾野の管理運営
こども医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り、小・中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成
乳幼児医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り乳幼児の健やかな成長に寄与するため医療費を助成
市認証保育所運営事業	子育て環境を整備するため、一定の基準を満たす認可外保育施設を市独自に認証し、運営費を助成

2. 成長するよこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」

事業名	事業概要
ほんものとふれあう学習事業	児童・生徒が文化・芸術の鑑賞や、トップアスリートなどの講演を聴くなど、ほんものとふれ合う機会を設定。アーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化（おんかつ）事業」も実施
学校施設環境改善交付金事業	西小学校・富岡第二小学校のトイレの洋式化と床の乾式化改修を実施
市民体育館改修事業	耐震補強と施設改修工事を実施

3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

事業名	事業概要
みんなで子育てするまち推進事業	地域全体が子育てを応援し、男性も女性も家庭と仕事の両立ができる機運を醸成するため、各種事業を長泉町と合同で実施

4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

事業名	事業概要
裾野駅バリアフリー化整備事業	駅構内のエレベーター整備などバリアフリー化を図るための工事に対して助成
裾野駅西土地区画整理事業	裾野駅西土地区画整理事業の推進と整備を実施
宅地分譲促進事業	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成
都市計画街路平松深良線整備事業	都市計画道路平松深良線の整備を実施

平成 28 年度 主要事業

5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

事業名	事業概要
産業連携地域プラットフォーム構築事業	新たな事業創造や起業を呼び込むため、地域・企業と地域産業の連携促進を図る産業連携地域プラットフォームを設立
景ヶ島溪谷公衆トイレ整備事業	利便性向上や衛生美化を図るため、公衆用トイレを整備
シティプロモーション推進事業	市の知名度・高感度のアップを図るため、マスコットキャラクターやフィルムコミッションなどの事業を実施

6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

事業名	事業概要
公共施設等マネジメント支援システム導入事業	市が所有する公共建築物の基本情報などを一元的に管理し、施設分析ができるシステムを導入

特別会計

●国民健康保険特別会計

歳入総額	59 億 227 万円
歳出総額	55 億 6,705 万円
実質収支額	3 億 3,522 万円

●後期高齢者医療事業特別会計

歳入総額	4 億 7,986 万円
歳出総額	4 億 7,677 万円
実質収支額	309 万円

●介護保険特別会計

歳入総額	31 億 9,681 万円
歳出総額	30 億 609 万円
実質収支額	1 億 9,072 万円

●土地取得特別会計

歳入総額	92 万円
歳出総額	92 万円
実質収支額	1 千円

●十里木高原簡易水道特別会計

歳入総額	4,968 万円
歳出総額	4,968 万円
実質収支額	1 千円

※水道事業会計は9ページに掲載しています。

●下水道事業特別会計

歳入総額	11 億 4,705 万円
歳出総額	11 億 4,632 万円
繰り越すべき財源	73 万円
実質収支額	1 千円

●墓地事業特別会計

歳入総額	4,644 万円
歳出総額	4,354 万円
実質収支額	290 万円



都市計画税の使途状況

都市計画税の決算額は4億824万円でした。都市計画税は、総合的なまちづくりを行うため、街路整備など都市計画事業に必要な費用の一部として活用されています。

●都市計画事業

事業別	事業費	構成比	財源内訳		
			特定財源※1	都市計画税※2	一般財源
土地区画整理費	5 億 6,611 万円	32.3%	4 億 6,905 万円	5,175 万円	4,531 万円
平松深良線街路費	1 億 62 万円	5.7%	8,581 万円	789 万円	692 万円
都市計画事業公債費	1 億 7,484 万円	10.0%	0 円	9,321 万円	8,163 万円
下水道事業特別会計	9 億 982 万円	52.0%	4 億 3,079 万円	2 億 5,539 万円	2 億 2,364 万円
合計	17 億 5,139 万円	100%	9 億 8,565 万円	4 億 824 万円	3 億 5,750 万円

※1 特定財源（国・県支出金、地方債、負担金、その他）

※2 各事業に要する一般財源の比率に応じて、都市計画税を案分し充当しています。